

● 大統領選挙の実施、ティモフティ新大統領の選出(16日)

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領選出に向けた動き

・12日、与党連合AIEIは、ニコラエ・ティモフティ最高司法評議会議長を16日予定の大統領選挙へのAIEI候補者とする旨発表。大統領選挙実施に関する特別委員会は、ティモフティ議長を正式な候補者として登録。ティモフティ議長は、特定のグループのための大統領ではなく国民全体のための大統領となる旨発言。

・12日、ドドン議員は、最終的に「ドドン・グループ」議員3名が同候補者を支持するか否かは、同候補との協議を経て15日に決定する予定である旨発言。

・14日、ティモフティ候補は、AIEI政権を支持する旨及びモルドバの欧州統合路線の必要性等につき言及、大統領に選出された際は最初の外遊でブリュッセルを訪問する意向である旨発言。

・15日、ゴーチャ議員(無所属)は、16日の大統領選挙においてAIEI推薦のティモフティ候補に賛成票を投じる意向を表明。

▼大統領選挙の実施、新大統領の選出(16日)

・投票には、与党連合AIEI議員58名、「ドドン・グループ」議員3名、ゴーチャ議員(無所属)の計62名が参加。共産党議員は、投票に参加せず、同党議員3名が議会にて投票プロセスを監視。

・デリウ大統領選出に関する議会特別委員会委員長は、計62名がティモフティ候補に対し賛成票を投じ、大統領選出に関する議会特別委員会が票の集計を行い、デリウ同委員長が同結果を発表、大統領選出に必要な議会議員5分の3(101名中61名)の賛成を得たため、ティモフティ候補が大統領に選出された旨発表(モルドバ憲法によれば、憲法裁判所が選挙の結果を有効と判断し、選挙から45日以内に当該候補者が宣誓を行った時点で正式に大統領に就任)。結果発表後、AIEI3党党首は勝利を宣言、ティモフティ氏は、国内の安定を約束する旨発言。

・共産党は、本大統領選出過程において違反が行われたとし、同党は選挙結果を認めない旨発表。

・シュルツ欧州議会議長、アシュトンEU外務・安全保障政策上級代表、フーレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員、ヤーグラン欧州評議会事務総長及びミニョン欧州評議会議員会議議長は、モルドバ新大統領としてティモフティ氏が選出されたことを歓迎する旨の声明をそれぞれ発表。

2. 経済

▼マクロ経済

・15日、国家統計局は、2011年のGDP成長率が6.4%であり、現在の市場価格でGDPが69.6億ドルを超えた旨発表。GDPに付加価値を与えたアイテムとしては、貿易・輸送(10.7%増)、コミュニケーション(6%増)、サービス業(3.2%増)、製造業(6.3%増)、農業・漁業(5.5%増)、産業(7.1%増)。

3. 外政

▼ヴォレベクOSCE少数民族問題担当高等弁務官の来訪

・14日、モルドバを訪問中のヴォレベクOSCE少数民族問題担当高等弁務官は、ルブ大統領代行兼議会議長と会談し、沿ドニエストル地域内の学校でのルーマニア語教育状況及びガガウズ自治共和国の法的地位等に関し協議。

・14日、フィラト首相は、ヴォレベク高等弁務官と会談し、少数民族の権利保護及び社会への統合は政府の優先事項である旨発言。また、同日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ヴォレベク高等弁務官と会談し、沿ドニエストル地域におけるルーマニア語教育の保護等に関し協議。

▼その他

・13日、イモネン駐モルドバ国連代表及びレアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、モルドバの国連加盟20周年記念式典に参加。イモネン代表は、同式典において、モルドバは国連の信頼できるパートナーである旨発言し、国連のモルドバに対する支援は2017年までに2億米ドルとなる旨発表。

・13日、シューベル駐モルドバEU代表部大使は、ドニエストル兩岸の信頼醸成プログラムの枠内においてEUはモルドバに対し1,200万ユーロの財政支援を供与する旨発表。

・16日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、デンマークを訪問し、ヴァーメン・デンマーク欧州相と会談。両者は、二国間関係の活性化及びモルドバの欧州統合問題に関し協議。

4. 沿ドニエストル

・10日、シェフチューク「大統領」は、露大統領選挙におけるプーチン氏の勝利に対し祝意を表明。

・12日、シェフチューク「大統領」は、モスクワにおいてナリイシュキン露国家院議長と会談し、相互協力関係の推進及び沿ドニエストル居住ロシア国民の現状に関し意見交換。

・14日、カルポフ国家再統合問題担当副首相とシュタンスキ「外相」は、ベンデル市内のOSCE事務所にて会談し、ドニエストル川两岸の信頼強化及び紛争解決問題に関し協議。両者は合同作業部会による協議を継続し、次回会合を3月19日にティラスポリにて開催することで合意。

・15日、沿ドニエストルを訪問したヴォレベクOSCE少数民族

族問題担当高等弁務官は、シェフチューク「大統領」及びシュタンスキ「外相」と会談し、地域内のルーマニア語教育状況等の少数民族の現状に関し協議。

・15日、シェフチューク「大統領」は、キシナウを訪問し、フィラト首相と非公式に会談。両者は、鉄道運行再開問題に関し意見交換し、「5+2」者会合の展望につき協議。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)